

第20回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

最近の取り組み状況の紹介

- 国道16号保土ヶ谷バイパスII期(町田立体)
- いな お ぼし 稲生橋交差点におけるピンポイント渋滞対策
- ひえ ばら 稗原交差点におけるピンポイント渋滞対策

令和元年8月2日

4 最近の取り組み状況の紹介

4-1 国道16号 保土ヶ谷バイパスⅡ期(町田立体)

- 国道16号 保土ヶ谷バイパスⅡ期(町田立体)は、国道16号が国道246号と交差する東名入口交差点付近を立体化する計画延長2.1kmの事業。
- 東名高速や横浜新道等の幹線道路との連絡強化、交通混雑の緩和、沿道環境の改善を目的としている。

1. 概要

国道16号が国道246号と交差する東名入口交差点付近を立体化。

○位置図



2. 目的

- ・ 東名高速や横浜新道等の幹線道路との連絡強化
- ・ 交通混雑の緩和
- ・ 沿道環境の改善

3. 計画の概要

区 間：東京都町田市鶴間地先

計画延長：2.1km

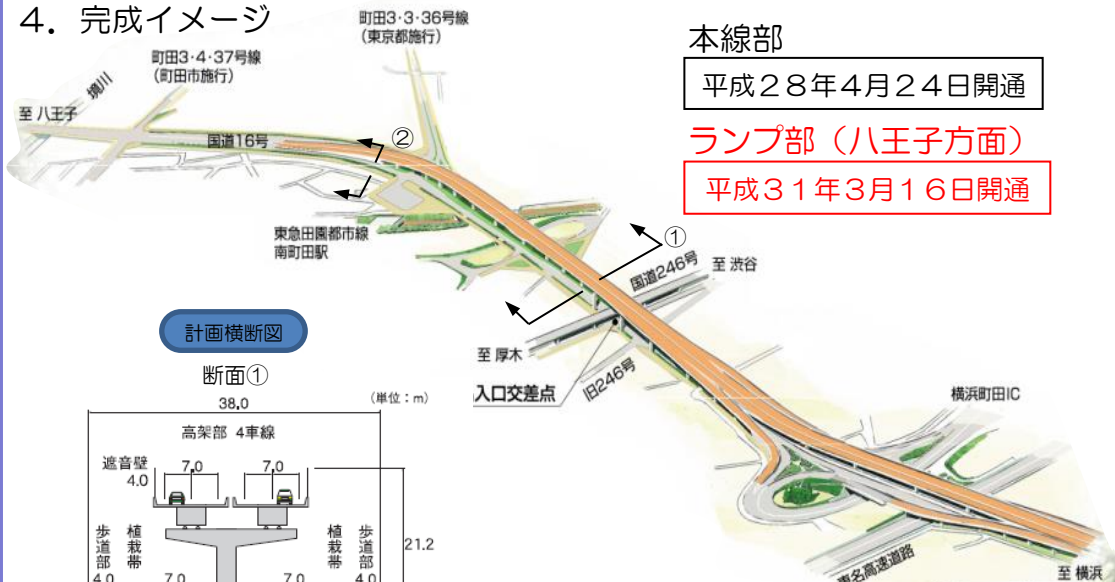
幅 員

- ・ 専用部：21m
- ・ 一般部：38~63m

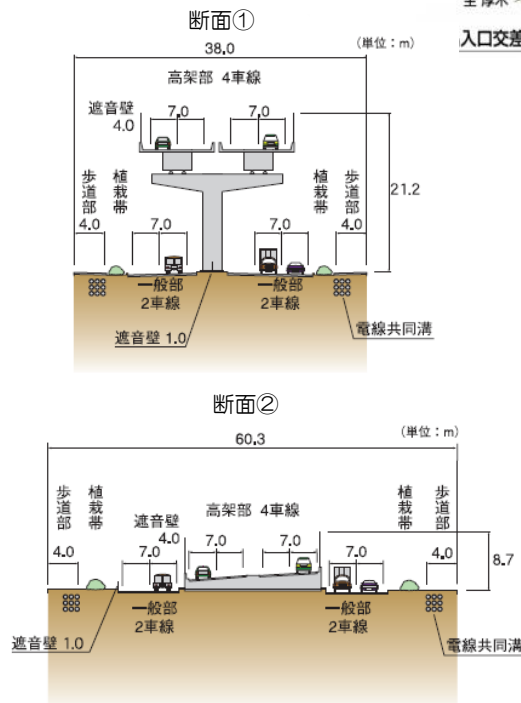
道路規格・設計速度・車線数

- ・ 専用部：第1種第3級・80km/h・4車線
- ・ 一般部：第4種第1級・60km/h・4車線

4. 完成イメージ



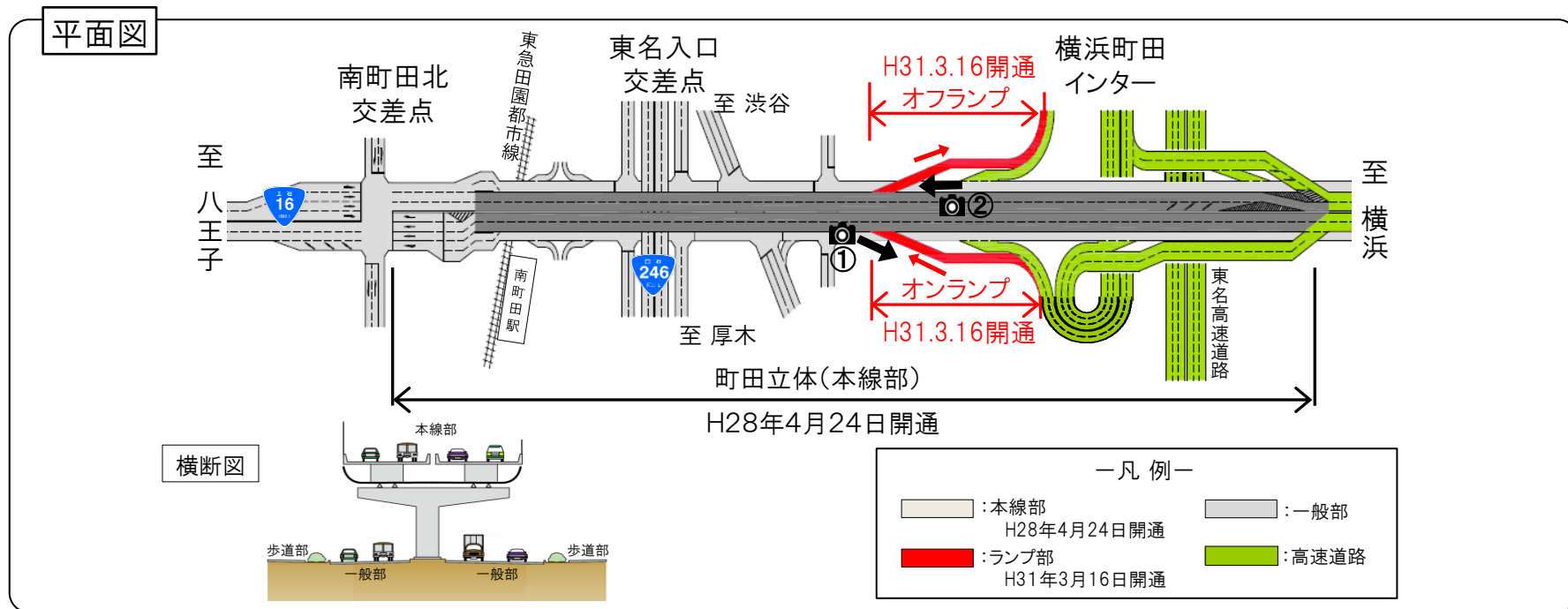
計画横断面図



4 最近の取り組み状況の紹介

4-1 国道16号 保土ヶ谷バイパスⅡ期(町田立体)

○ H28年4月24日に本線部が開通。H31年3月16日にランプ部が開通となっている。



○開通後の状況(H31年3月18日撮影)



※横浜町田IC直結ランプ(オンランプ)



※横浜町田IC直結ランプ(オフランプ)

出典：
R1.6.14 川崎国道事務所記者発表資料を
基に作成

4 最近の取り組み状況の紹介

4-1 国道16号 保土ヶ谷バイパスⅡ期(町田立体)

- 今回の東名高速と直結したことにより保土ヶ谷BPの利便性が向上し、保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)の交通量は開通前36,100台/日から開通後45,200台/日となり約25%増加。
- 国道16号一般部の交通量は、平成28年度の保土ヶ谷バイパス開通により減少傾向にあるが、高架部ランプ開通で開通前28,800台/日から開通後22,900台/日となり約20%減少。

<保土ヶ谷BP(Ⅱ期)の利用が促進>

・国道16号高架部

保土ヶ谷BP(Ⅱ期)の交通量は約25%増加

《開通前》約36,100台/日

《開通後》約45,200台/日

※調査日 開通前：平成30年12月 4日(木)、18日(木)の平均値
開通後：平成31年 4月16日(火)、17日(水)の平均値

・国道16号

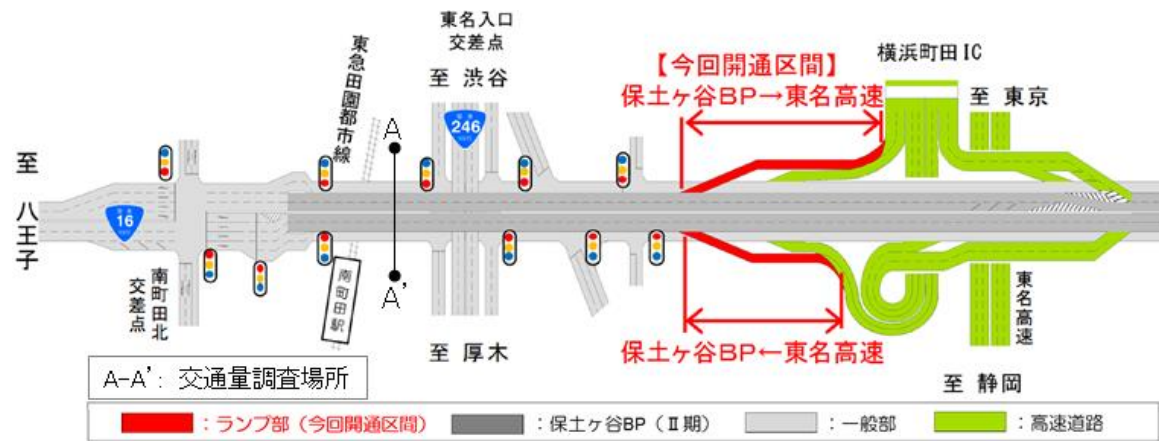
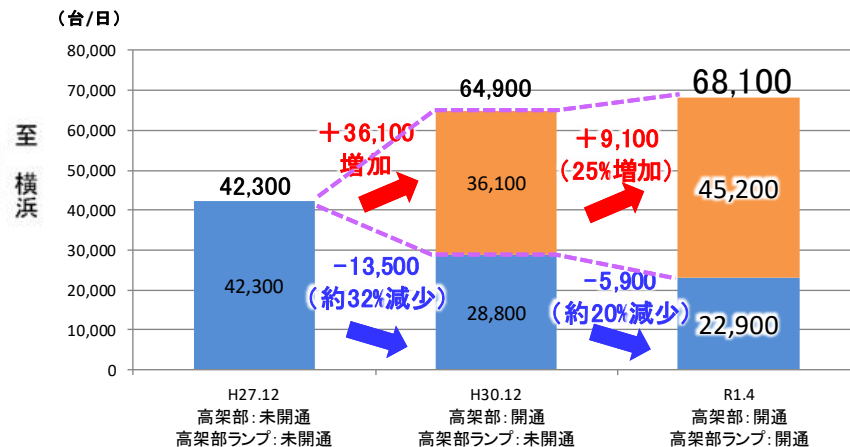
一般部の交通量は約20%減少

《開通前》約28,800台/日

《開通後》約22,900台/日

○断面交通量の変化 (A-A' 断面)

■ 一般部 ■ 高架部



出典: R1.6.14 川崎国道事務所記者発表資料を基に作成

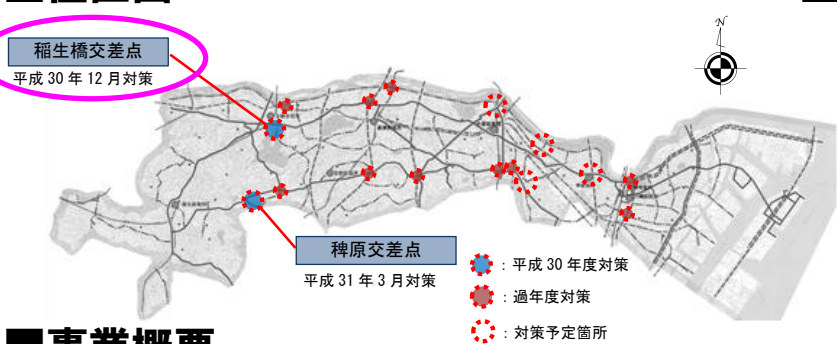
4 最近の取り組み状況の紹介

いな お ぼ し

4-2 稲生橋交差点におけるピンポイント渋滞対策

- 県道川崎府中と市道向ヶ丘遊園駅菅生線が交差する稲生橋交差点では、朝夕の時間帯に渋滞が発生。
- このため、平成30年12月に、市道向ヶ丘遊園駅菅生線の「生田緑地側」から「府中方面」へ向かう車両の左折レーンを増設し、直進車と分離するなどの交差点改良を実施。
- 最大渋滞長の減少及び最大通過時間の短縮の効果が発現。

■位置図



■対策による効果

出典:R1.6.19 川崎市報道発表資料を基に作成

【市道向ヶ丘遊園駅菅生線】

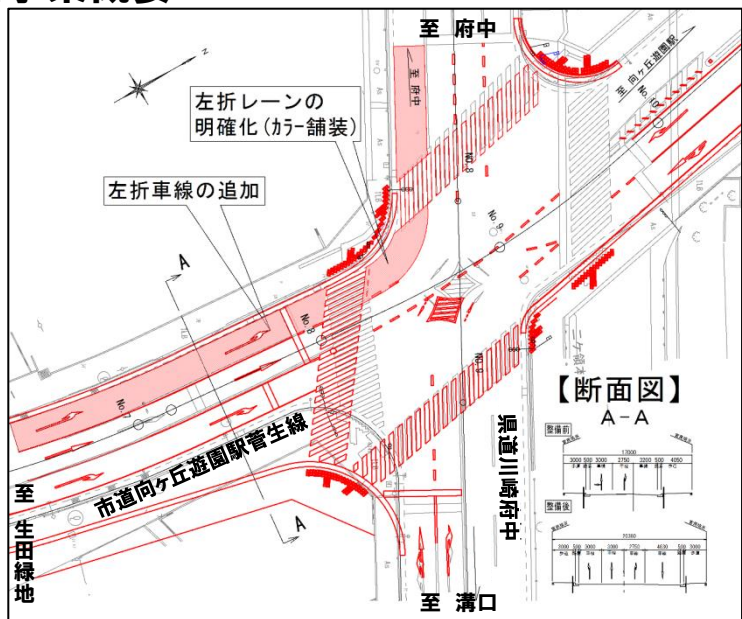
- ・最大通過時間:2分58秒短縮
- ・最大渋滞長:180m減少

【県道川崎府中】

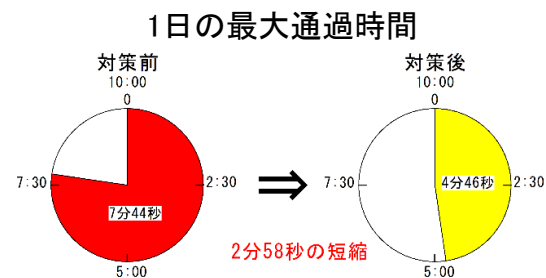
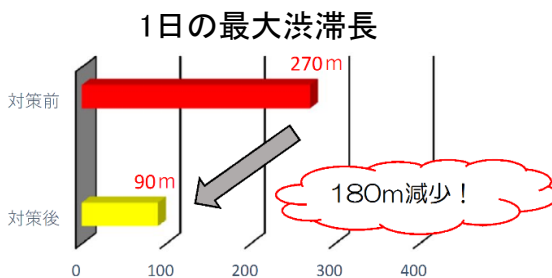
- ・最大通過時間:3分4秒短縮
- ・最大渋滞長:160m減少

(※調査日:対策前 平成30年 5月29日 対策後 令和元年 5月28日)

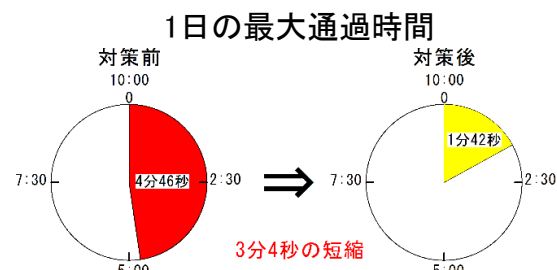
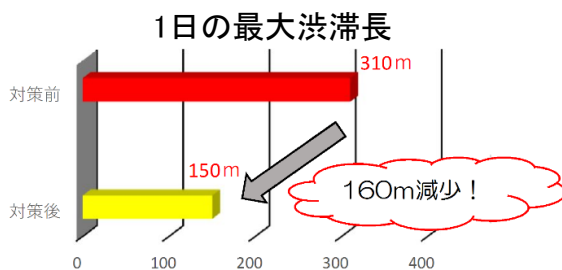
■事業概要



【市道向ヶ丘遊園駅菅生線】(「生田緑地側」から「府中方面」)



【県道川崎府中】(「溝口側」から「府中方面」)



4 最近の取り組み状況の紹介

4-3 稗原交差点におけるピンポイント渋滞対策

- 市道尻手黒川線と市道稗原線が交差する稗原交差点では、朝夕の時間帯に渋滞が発生。
- このため、平成31年3月に、市道稗原線の「横浜市側」から「麻生区方面」へ向かう車両の左折レーン長を延伸させるなどの交差点改良を実施。
- 最大渋滞長の減少及び最大通過時間の短縮の効果が発現。

位置図



対策による効果

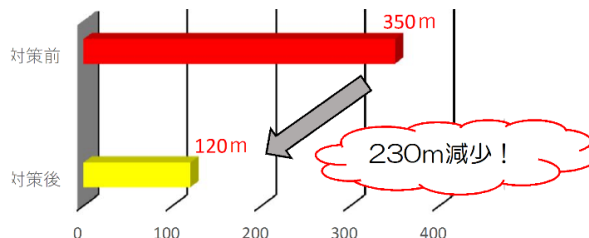
出典: R1.6.19 川崎市報道発表資料を基に作成

【市道稗原線】

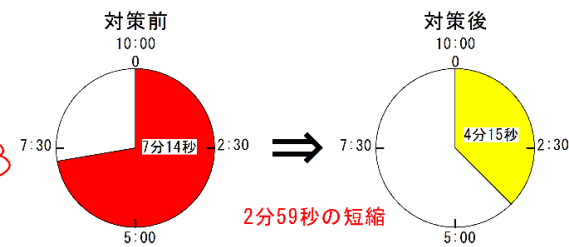
- ・最大通過時間: 2分59秒短縮
- ・最大渋滞長: 230m減少

(※調査日: 対策前 平成31年 2月 8日 対策後 令和元年 5月24日)

1日の最大渋滞長



1日の最大通過時間



事業概要

